



第23回「おたる案内人」検定試験問題 1級・2級 共通問題

2026年3月8日

小樽観光大学校

* 合格発表は下記のホームページでご確認できます。
* URL:<http://www.otaru-kd.com/>

各設問で選択問題は1～4の番号で、また記述問題は該当する語句を記入しなさい。(制限時間90分)

問1

小樽のまちの変遷として「場所」、「村並」から「郡」へと変わっていきます。小樽が「郡」となったのは何年でしょうか。

問2

小樽が「村並」になった時代、定住者が増えていったおもな理由は次のどれでしょうか。

1. 北前船がたくさん寄港するようになった
2. 鯊漁の出稼ぎなどで東北地方、近江、松前から人が移り住んだ
3. アイヌの人々の定住者が増えた
4. 倒幕運動から逃れてきた

問3

() 内に該当する語句を書きなさい。

問1の年、もう2つの大きな出来事がありました。一つは(A)から北海道へ改称。もう一つは(B)の廃止により誰もが漁場を開拓できるようになりました。

問4

次の4人のなかで「北海道」という名称に改称される際、大きく関わった人物は次のどれでしょうか。

1. 土方歳三
2. 松浦武四郎
3. 黒田清隆
4. 榎本武揚

問5

北海道開拓において開拓顧問として活躍したホーレス・ケプロンのアメリカ連邦政府での役職名(明治4(1871)年の時)は次のどれでしょうか。

1. 工部省長官
2. 鉱業省長官
3. 農務省長官
4. 開拓省長官

問6

昭和初期、小樽の花園町で割烹料亭の経営者が小樽観光のはじまりともいえるオタモイ遊園地を建設しました。この加藤秋太郎が経営していた花園町の店は何という名前でしょうか。

問7

鯊漁期中に雌が産卵したところに雄が白子を放出し、海が白くなるという現象がありますが、その現象を表した正しい漢字は次のどれでしょうか。

1. 郡来
2. 群帰
3. 群喜
4. 群来

問8

次の問に該当する語句を書きなさい。

江戸時代、江差、松前で行われていた鯊漁はそれらの地域が不漁になると、鯊を追った人々は享保年間には近場所まで、その後中場所まで出漁が許可されました。この鯊を追った人々のことを何というのでしょうか。次の中から選びなさい。

1. 親方
2. 場所請負人
3. 雇い
4. 追鯊

問9

鯊漁の場所の範囲を説明している文です。正しいのはどれでしょうか。

1. 現在の札幌市星置付近から勝納川までがオタルナイ場所
2. 於古発川から山中までがタカシマ場所
3. 高島岬からフゴッベ岬までがオショロ場所
4. 於古発川から高島岬までがタカシマ場所

問10

明治20年代、祝津、高島地区の総建網数102統のうち、16統を所有する漁家がありました。この漁家名を書きなさい。

問11

祝津に現在も残っている鯨漁で有名な親方の住居です。この漁家名は何というのでしょうか。



問12

余市町から昭和13（1938）年に小樽の平磯岬に移築された、猪俣安之丞が明治後期に建てた鯨漁家建築は令和5（2023）年2月、文化財に登録されました。その指定・区分は次のどれでしょうか。

1. 国指定重要文化財
2. 道指定有形文化財
3. 市指定有形文化財
4. 国登録有形文化財

問13

小樽（忍路除く）の鯨漁獲量の最高値は大正14（1925）年です。この年の漁獲量は次のどれでしょうか。

1. 95,000石
2. 85,000石
3. 75,000石
4. 65,000石

問14

鯨漁の雇い漁夫に関する次の文章のカッコに入る地域名を記入しなさい。

明治20年代に雇われた漁夫数は北海道全体で9万人を超え、そのうち約6万人は他府県でした。そのおもな出身地は南部、津軽、（ ）、庄内地方出身の人々でした。

問15

食用の生鯨の呼び方として正しいのは次のどれでしょうか。

1. 松前鯨
2. 胴鯨
3. 粒鯨
4. 身欠

問16

鯨漁における「沖揚げ」とはどのようなことをいうのでしょうか。次の中から選びなさい。

1. 沖に仕掛けた建網で漁獲すること
2. 鯨を陸に揚げるときのこと
3. 網を手繰り寄せ汲船にいれる作業を繰り返すこと
4. 海上で鯨を捕獲して陸揚げするまでの一連の流れのこと

問17

江戸時代後半から続いた鯨漁は肥料として大きな商売となっていましたが、段々と肥料としての需要は次第に衰退していきました。その理由と関係ないのは次のどれでしょうか。

1. 化学肥料が出てきた
2. 生鯨が大量に全国に流通できるようになった
3. 漁獲量が不安定になってきた
4. 大正時代後半から高単価な身欠鯨製造の比重が高まってきた

問18

鯨漁では作業のときに唄われる「うた」があります。次の作業で唄われる音頭名を書きなさい。「網の目をふさぐほど産み付けられた卵を網から落とすときに浜辺で唄いました。」

問19

江戸時代の国内の海路として正しいのは次のどれでしょうか。

1. 江戸～大坂間の東海路
2. 東北～大坂間の西海路
3. 東北・蝦夷地～江戸間の北海路
4. 江戸～尾張間の尾張海路

問20

次の中で小樽市における日本遺産「北前船」の構成文化財ではないのはどれでしょうか。

1. 津古丹稲荷神社本殿
2. 西川家文書
3. 旧魁陽亭
4. 旧増田倉庫

問21

次の文中の（ ）に当てはまる語句を選びなさい。

北陸地方の北前船の船乗りたちの給料は大変少ないうえ、遭難も多い危険な仕事でした。そこで、積み荷の約1割は船乗りの個人商売を認めるという（ ）とか「帆待ち」と呼ばれた抜け道がありました。船乗りたちはこれを利用し金銭を蓄え独立していきました。

1. 切出し
2. 直払の口
3. 売りさばき
4. 蔵敷

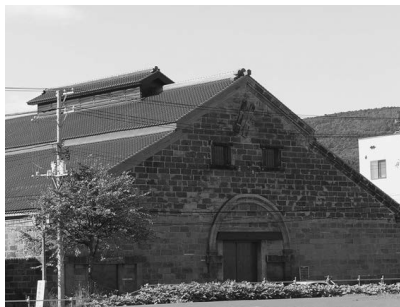
問22

北前船が大坂から蝦夷地へ向かうのを「下り」、その逆を「上り」といいますが、次のなかで間違っているのはどれでしょうか。

1. 下り荷には紙も積まれていた
2. 下り荷にはワラも積まれていた
3. 上り荷には塩も積まれていた
4. 上り荷にはイリコも積まれていた

問23

この写真は、北運河にある北前船主の倉庫です。（ ）内に該当する番号を選びなさい。



この北前船主は（ A ）出身で明治中期には6～8隻の北前船を所有していました。この北前船主は後に（ B ）らとともに日本海上火災保険株式会社を創設し取締役就任します。

- A
1. 石川県加賀市橋立町
 2. 石川県加賀市大聖寺
 3. 福井県南条郡南越前町
 4. 福井県小浜市

- B
1. 西出孫左衛門
 2. 広海二三郎
 3. 銭屋五兵衛
 4. 浜中八三郎

問24

小樽での日本遺産「北前船」の構成文化財には船絵馬があります。次の文章を読みこの船絵馬が奉納されているのは何というお寺でしょうか。

このお寺は文久2（1862）年に開創し、本堂は小樽市指定歴史的建造物になっています。本殿左脇の龍神堂内には船絵馬が3面奉納されています。龍神堂正面には越前産の笏谷石製の狛犬、境内地には笏谷石製の三十三観音が設置されています。

問25

ある北前船主の説明です。文中の（ ）に当てはまる語句を記入しなさい。

石川県加賀市橋立町出身で小樽に海運会社を設立。日露戦争後の海運発展に乗り、「（ A ）の回漕店」といわれるようになった。天狗山麓にある金毘羅大本院はこの北前船主の農場の敷地内で祀ったものです。現在の（ B ）小学校付近にあった千登勢温泉は別荘でした。

問26

次の文章は北前船交易によりもたらされた文化です。それは何というものでしょうか。

江戸時代宝永年間に商業が盛んになると販売促進のために登場した1枚物の商業印刷物です。浮世絵の影響を受けた多色刷りや絵画的芸術性の高いものも配布されました。

問27

次の文章は小樽で活躍した商人を説明しています。この商人の名前を選びなさい。

「松前藩の城下町福山に生まれる。明治15(1882)年、所有地の相生町から水天宮の西裾を
通って堺町のオコバチ川までの道路を造成した。小樽商業会議所の初代会頭でした。」

1. 山田兵蔵 2. 山田吉兵衛 3. 石橋彦三郎 4. 寿原猪之吉

問28

次の写真の中で、小樽で活躍した商人の高橋直治に関する建物はどれでしょうか。

1.

2.

3.

4.



問29

次の建物の中で、小樽で活躍した商人(「おたる案内人」公式テキスト内)と関連のないものはどれでしょうか。(建物名は現在名)

1. 小樽オルゴール堂本館 2. おたる瑠璃工房 運河店
3. 小樽市公会堂 4. 猪股邸

問30

小樽で活躍した商人たちは、まちに寄付をして貢献しました。商人名と寄付したものの組合せで正しいのはどれでしょうか。

1. 藤山要吉……小樽市民会館 2. 2代目板谷宮吉……小樽中学校
3. 高橋直治……小樽区公会堂 4. 土肥太吉……小樽市庁舎

問31

堺町通りにある「おたる瑠璃工房運河店」は小樽商人が残した建物で、現在は店舗として活用されています。かつてこの商人は小樽で最初の新聞を発行しました。その新聞名を書きなさい。

問32

小樽で活躍した商人のなかで、商工会議所(商業会議所も含む)の会頭になっていないのは次のどれでしょうか。

1. 倉橋大介 2. 藤山要吉 3. 磯野 進 4. 木村円吉(6代目)

問33

小樽港は海上輸送網の拠点として位置づけられている港で、国際または国内海上輸送網の拠点となる港湾とされています。国の利害に重大な関係がある港湾で、港湾法に基づいて政令で定められています。このような港湾を何というのでしょうか。

問34

明治13(1880)年、当時の大型の船が接岸できる栈橋が手宮に建設されました。この栈橋の長さは次のどれでしょうか。

1. 約130m 2. 約230m 3. 約330m 4. 約430m

問35

明治22(1889)年、小樽港は米、麦、麦粉、石炭、硫黄の5品目に限り、日本船または日本人雇用の外国船により輸出できる港となりました。このような港のことを何というのでしょうか。

問36

小樽港の整備は、明治25（1892）年、第4代北海道庁長官が、小樽に近代的な港湾建設をとくに意見書を提出したことで、試験工事を経て本格的な工事が始まりました。本格的な小樽築港第一期工事が始まったのは次のどれでしょうか。

1. 明治26（1893）年
2. 明治28（1895）年
3. 明治30（1897）年
4. 明治32（1899）年

問37

小樽築港第一期工事で北防波堤が完成しました。完成まで要した年数は次のどれでしょうか。

1. 7年
2. 9年
3. 11年
4. 13年

問38

小樽港の工事に大きく貢献した廣井勇についての説明で正しいものはどれですか。

1. 廣井勇はフランスに留学し橋梁設計を学び幌内鉄道建設にも関わった
2. 廣井勇は愛媛県出身で、伊藤長右衛門と同郷だった
3. 廣井勇は明治32（1899）年から東京帝国大学教授も兼任し、後進を育成した
4. 廣井勇の札幌農学校時代の同期生は、後に北海道帝国大学初代総長になった佐藤昌介

問39

小樽築港第一期工事の北防波堤の建設は、当時の土木技術の粋を集めて建設されました。以下の説明で正しいものはどれですか。

1. コンクリートブロックの長期にわたる耐久性が明らかでなかったため、日本古来からの治水技術を導入した伝統的な工事を行い完成させた
2. 日本の技術者だけでは近代的な防波堤を造ることができなかつたため、お雇外国人のC.Sメークが用いた工事手法を導入して建設に成功した。
3. コンクリートを使った防波堤建設の失敗などが他の港で続いたので、全て石の斜め積みによる防波堤を建設した
4. 廣井勇が初代の築港所長となり、様々な調査や実験を経て、日本で初めてのコンクリートを用いた外洋防波堤の建設に成功した。

問40

北海道の鉄道建設に関わった人物とその主な役割の組み合わせで間違っているのはどれでしょうか。

1. 榎本武揚……開拓使物産取調掛
2. 黒田清隆……第2代開拓長官
3. ライマン……地質学者
4. クロフォード……鉄道技師長

問41

神居古潭の道路開削と短距離の鉄道建設にあたって開拓使が招聘した技師がクロフォードでした。ただ、招聘された段階では幌内炭田から石炭搬出経路開発の主人公となる人物が他にいました。その人物とはだれでしょうか。

問42

明治12（1879）年、開拓使は札幌間の道路建設費を命じます。クロフォードはこの工事をどのくらいの期間で完成させたでしょうか。

1. 5ヶ月
2. 7ヶ月
3. 11ヶ月
4. 1年

問43

小樽、幌内間の鉄道敷設のルート決定をうけ、本格的な鉄道工事は若竹第三トンネルの開削から始まりました。この工事を指揮したのは次の誰でしょうか。

1. 平井晴二郎
2. 松本莊一郎
3. 広井 勇
4. ペリー

問44

北海道鉄道(株)の工事は明治34(1901)年、大沼峠下トンネルと忍路トンネルの開削から始まりました。北海道鉄道が全線開通したのは次のどれでしょうか。

1. 明治34(1901)年
2. 明治35(1903)年
3. 明治36(1903)年
4. 明治37(1904)年

問45

幌内鉄道の手宮－札幌間の開通時には4つの駅しかありませんでした。正しいのは次のどれでしょうか。

1. 手宮－開運町－朝里－札幌
2. 手宮－朝里－軽川－札幌
3. 手宮－朝里－銭函－札幌
4. 手宮－開運町－銭函－札幌

問46

幌内鉄道に導入された蒸気機関車は6号まで「和名」がつけられていました。次の4つの中で正しいのはどれでしょうか。

1. 1号「義経」 2号「弁慶」 3号「比羅夫」
2. 1号「義経」 2号「しづか」 3号「弁慶」
3. 1号「弁慶」 2号「義経」 6号「しづか」
4. 1号「弁慶」 2号「義経」 4号「比羅夫」

問47

現在のJR小樽市駅のホームやコンコース、通路には北一硝子さんが寄贈したランプが設置されています。その数は何個でしょうか。(文化庁：日本遺産ポータルサイトより)

問48

小樽運河保存運動が立ち上がるきっかけとなったのは、札幌自動車道の延長幹線道路建設で当時、有幌にあった石造倉庫群が次々に取り壊されたことでした。この工事が行われた年はいつでしょうか。

問49

昭和51(1976)年、道路建設による運河埋め立てを危惧し、「小樽運河を守る会」の発起人会が正式に発足しました。この時、初代会長になったのは次のどれでしょうか。

1. 峯山富美
2. 越崎宗一
3. 西村幸雄
4. 小川原 格

問50

次の文章は現在の小樽運河に架かる橋の説明です。橋の名称を書きなさい。

「小樽運河に架かる橋の中では他の橋より高さがあり遊漁船も航行できます。橋のもとには小樽出身の彫刻家、斎藤吉郎さんの作品「カモメ呼ぶ少女」像があります。」

問51

運河埋め立ての着工直前、保存派による署名活動が行われました。その結果は次のどれでしょうか。

1. 1ヶ月間で3万7千人の署名を集めた
2. 1ヶ月間で5万7千人の署名を集めた
3. 2ヶ月間で9万7千人の署名を集めた
4. 2ヶ月間で10万7千人の署名を集めた

問52

() 内に該当する語句を記入しなさい。

明治10年代の庶民の住宅は簡易な木造で建てられ屋根は板を葺いて(A)が置かれていました。また手宮の鉄道に関わる施設は西洋風の木造で外壁を(B)にして窓の戸は上下させる縦長窓でした。

問53

明治37（1904）年の稲穂の大火を契機に市街地の主要な建物は木骨石造へ一気に転換しました。色内にある木骨石造の旧早川支店には防火対策として建物正面左側にあるものが設置されています。そこには鶴や亀などの彫刻がほどこされています。この設置されているものは何というのでしょうか。

問54

明治16（1883）年から始まった手宮の鉄道施設の建造物に使われた建築材料は火災から施設を守るためでした。この材料は入船の陸橋と手宮の倉庫、さらに現在、国指定重要文化財になっている機関車庫にも使われました。この材料は次のどれでしょうか。

1. 小樽の軟石
2. 札幌軟石
3. コンクリートブロック
4. レンガ

問55

手宮の鉄道施設建設を指導した平井晴二郎は手宮での経験を発展させ、現在も残る重要な建築物にも関わりました。次のなかで平井晴二郎に関わった建物は次のどれでしょうか。

1. 豊平館
2. 北海道庁旧本庁舎
3. サッポロビール博物館
4. 旧永山武四郎邸

問56

令和7（2025）年4月、旧日本郵船(株)小樽支店が修復工事を終え再公開されました。次のなかで、この建物に関する説明で間違っているのはどれでしょうか。

1. この建物は木骨石造ではなく石造だ
2. この建物を設計したのは佐立七次郎だ
3. 1階の貴賓室と2階の会議室の壁紙は金唐布紙という貴重な壁紙が採用されている
4. この建物が建築されたのは明治39（1906）年だ

問57

次の小樽市内にある建物の建築時名と現在名との組み合わせで間違っているのはどれでしょうか。

1. 百十三銀行小樽支店……オルゴール堂海鳴楼
2. 荒田商会……小樽芸術村ステンドグラス美術館
3. 上勢友吉商店……小樽オルゴール堂 遊工房
4. 中越銀行小樽支店……銀の鐘

問58

北海製罐の工場施設の説明です。文中の（ ）内に該当する語句を書きなさい。
主要な建物は鉄筋コンクリート造で、事務所は（ A ）の連続窓が特徴でモダンな外観を表現しています。また第3倉庫は外壁に（ B ）（渦巻き状滑り台）をつけ、製品を一気に艇に積み込む工夫をしています。

問59

次の3つは色内銀行街にある建物です。関連した語句の組み合わせで、番号内のA・B・Cすべて正しいものは何番でしょうか。（建物名は建築時）

- A) 三菱銀行小樽支店 B) 北海道拓殖銀行小樽支店 C) 第一銀行小樽支店
1. A) 大正11(1922)年建築 B) 矢橋賢吉 C) ミュキソーイング(株)
 2. A) 大正11(1922)年建築 B) 日本遺産「炭鉄港」構成文化財 C) 田辺淳吉
 3. A) 大正12(1923)年建築 B) 似鳥美術館 C) 渋沢栄一
 4. A) 大正13(1924)年建築 B) 小林多喜二 C) アール・ヌーヴォー

問60

次の小樽市指定歴史的建造物のなかで、日本遺産「北前船」、「炭鉄港」の構成文化財となっていないのはどれでしょうか。(建物名は建築時)

1. 増田倉庫
2. 篠田倉庫
3. 三井物産小樽支店
4. 三菱銀行小樽支店

問61

小樽の建造物と建築様式の関係の説明で、間違っているのは次のどれでしょうか。

1. 小樽聖公会は軒の装飾にカーペンターゴシックを取りいている
2. 和光荘は幾何学模様のアール・デコのデザインを基調にしている
3. 第一銀行は曲線を生かすアール・ヌーヴォーの影響を受けている
4. 三井銀行の軒の装飾はゴシック様式のデザインで統一されている

問62

次の建物のなかで建築構造が一つだけ違うものがあります。それはどれでしょうか。(建物名は現在名)

1. 小樽バイン
2. 小樽運河ターミナル
3. 小樽市庁舎本館
4. おたる無尽ビル

問63

() 内に該当する語句は次のどれでしょうか。

小樽の桜町ロータリーの一带はイギリスのハワードに端を発する()の計画思想に基づいて昭和9年に設計された町といわれています。

1. 理想都市
2. 丘陵都市
3. 田園都市
4. 未来都市

問64

小樽観光で人気の一つがオルゴールですが、その語源はオランダ語のオルゲルです。オルゴールが日本に入ってきた当時、オルゴールにあてた漢字は次のどれでしょうか。

1. 自奏琴
2. 自鳴琴
3. 自奏鍵
4. 自鳴鍵

問65

木版画のパイオニアであった金子誠治は、小樽に移住後小樽市内の小学校の教員となります。その当時の小学校名は何というでしょうか。

問66

市立小樽美術館には2つの記念ホールがあります。一つは日本を代表する版画家の一原有徳記念ホール。もう一つは日本を代表する風景画家の記念ホールです。この画家名を書きなさい。

問67

次の文章に該当する歌人の名前を書きなさい。

郷里の岩手を離れ小樽に来てから、創立したばかりの小樽日報社に入社し記者となりますが長続きせず小樽日報社を辞めてしまいます。その後、釧路新聞社に入社します。4ヶ月足らずの小樽時代でした。

問68

伊藤整は小樽中学校卒業後、小樽高商へ進学。その後、小樽市中学校の教員となります。担当した教科は次のどれでしょうか。

1. 英語教員
2. 国語教員
3. 数学教員
4. 社会科教員

問69

石川啄木の文学碑は小樽市内に3か所あります。一つは小樽公園内、2つ目は水天宮境内、3つ目はどこでしょうか。次の中から選びなさい。

1. ゴロダの丘
2. 旭展望台
3. 小樽駅前三角市場
4. 住吉神社境内

問70

令和7（2025）年12月末現在の小樽市の人口は次のどれでしょうか。

1. 101,355人 2. 102,355人 3. 103,355人 4. 104,355人

問71

令和7（2025）年度上期の小樽市の観光入込客数は、前年度比104%となり、8年ぶりに400万人を超えました。入込客数は次のどれでしょうか。

1. 413万4,100人 2. 415万4,100人 3. 417万4,100人 4. 419万4,100人

問72

令和7（2025）年7月24日、小樽芸術村で5館目となる施設が「浅草橋小樽運河倉庫ビル」に開館しました。その施設名を書きなさい。

問73

令和7（2025）年7月18日、『その街に集うすべての人にご満足いただける、その街のスタイルホテル』を基本コンセプトに小樽運河の近くにホテルがオープンしました。地上6階建て、客室は全159室で、最上階には石狩湾を一望できる展望露天風呂やBARも備わっています。このホテル名を書きなさい。

問74

令和7（2025）年2月4日、小樽市は地域型日本遺産に認定されました。そのストーリーを語る上で欠かせない26項目の文化財があります。その20番目に「運河完成後の倉庫群」があり3棟の構成文化財があります。次の中でこの3棟に該当しないのはどれでしょうか。

1. 澁澤倉庫 2. 旧篠田倉庫 3. 旧浪華倉庫 4. 旧大家倉庫

問75

民間シンクタンクのブランド総合研究所は令和7（2025）年10月に全国市区町村（1000市区町村）と都道府県の魅力度ランキングを発表しました。都道府県別は17年連続で北海道が1位。市区町村のベスト10には道内から小樽市も含め4自治体が入りました。小樽市は全体の何番目にランクされたでしょうか。

問76

令和7（2025）年も多くのクルーズ船が小樽港第3号埠頭へ寄港しました。寄港した実績数は次のどれでしょうか。

1. 23回 2. 25回 3. 30回 4. 33回

問77

令和7（2025）年も小樽を含む石狩湾で上位蜃気楼の「高島おぼけ」が発生しました。かつて北方探検家の松浦武四郎が小樽沖を航行中に見た蜃気楼のことで、松浦武四郎がまとめた日誌に記述されていました。その日誌名は次のどれでしょうか。

1. 西蝦夷日誌 2. 東蝦夷日誌 3. 北夷分界余話 4. 東韃紀行

問78

（ ）内に該当する数字を書きなさい。

坂の多い小樽ですが、坂には勾配率を表す「%」の標識があります。例えば浄心寺の坂には20%の標識があります。これは水平距離（ ）メートルに対して垂直距離が20メートル上がることを表しています。

問79

（ ）内に該当する語句を選びなさい。

船見坂上方から小樽港方面を見ると良く晴れた日は対岸に（ ）が見えます。

1. 樽前山 2. 増毛連山 3. 恵庭岳 4. 余市岳

問80

次の文章は、小樽八区八景の八区の中のある地区の解説です。該当する地区を選びなさい。
山あいを抜ける農道沿いには、畑や果樹園が連なり、自然豊かな田園風景が広がっています。国道5号沿いの坂道には工場などがあり、両側の斜面には住宅が建ち並んでいます。

1. 張碓地区
2. 蘭島・忍路地区
3. オタモイ・赤岩地区
4. 桃内・塩谷地区

問81

かつて小樽市内にはたくさんの市場がありましたが、年々減少し現在は5つとなりました。その5つとは次のどれでしょうか。

1. 南樽市場・新南樽市場・三角市場・中央市場・中央卸市場
2. 南樽市場・妙見市場・三角市場・中央市場・中央卸市場・
3. 南樽市場・新南樽市場・三角市場・中央市場・鱗友朝市
4. 南樽市場・入船市場・三角市場・鱗友朝市・中央市場

問82

第26回小樽市都市景観賞が令和7（2025）年11月に発表され小樽市都市景観賞3件・小樽市都市景観奨励賞1件が決定しました。次の中で第26回の受賞物件ではないのはどれでしょうか。

1. 小樽港観光船ターミナル
2. 小樽住ノ江火の見櫓とまもる会の活動
3. 群青
4. 住吉神社参道等の整備

問83

小樽の田中酒造は市内唯一の酒造会社です。色内町の本店と信香町の店舗・工場の2カ所あり、信香町の店舗・工場は旧岡崎倉庫を再生活用しています。この信香町の建物は何という名称でしょうか。次の中から選びなさい。

1. 信香蔵
2. 岡崎蔵
3. 宝川蔵
4. 亀甲蔵

問84

小樽市内の神社、寺と関わりのある事柄の組合せで間違っているのは、次のどれでしょうか。

1. 龍宮神社 — 榎本武揚
2. 直行寺 — 石橋彦三郎
3. 塩谷神社 — 船絵馬
4. 住吉神社 — 北前船主の大鳥居

問85

（ ）内に該当するものを選びなさい。

令和7（2025）年10月24日、国の文化審議会において、小樽市にある（ ）を重要文化財にするよう、文部科学大臣へ答申があり、令和8（2026）年1月15日、官報告示をもって正式決定となりました。

1. 日本銀行旧小樽支店
2. 小樽市公会堂
3. 小樽港防波堤施設
4. 日和山灯台

問86

小樽の教育は明治6（1873）年、開運町に小樽群教育所開設で始まりました。この場所には以前は「小樽教育発祥之地」という石碑がありましたが、現在は題字部分だけを再利用した新記念碑が設置されています。その場所は次のどれでしょうか。

1. 住吉神社敷地内
2. 小樽市立病院敷地内
3. 双葉高等学校敷地内
4. 潮見台小学校敷地内

問87

後志地域には20の自治体があります。その内、海に面していないのは次のどれでしょうか。

1. 共和町
2. 島牧村
3. 寿都町
4. 黒松内町

問88

国登録有形文化財のJR小樽駅は、明治36（1903）年に「小樽中央停車場」として開業して以来、たびたび駅名が変更され、大正9（1920）年に「小樽駅」となります。現在の駅舎は開業以来、何代目となる建物でしょうか。

1. 2代目
2. 3代目
3. 4代目
4. 5代目

問89

市指定有形文化財の日本銀行旧小樽支店の説明で間違っているのは次のどれでしょうか。

1. 日本銀行の派出所が小樽に初めて設置されたのは明治26（1893）年だ
2. 建物の設計をしたのは辰野金吾、長野宇平治、岡田信一郎の3名だ
3. 金融資料館として公開されたのは、平成15（2003）年からだ
4. この建物は明治42（1909）年に着工し、完成したのは明治44（1911）年だ

問90

次の小樽市内の文化財と指定区分の組み合わせが正しいのはどれでしょうか。

1. 西川家文書……道指定有形文化財
2. 旧青山家別邸……国登録有形文化財
3. 高島越後盆踊りの行事……道指定無形民俗文化財
4. 向井流水泳……道指定無形文化財

問91

道指定有形文化財の木造五百羅漢像のあるお寺の名前は次のどれでしょうか。

1. 龍徳寺
2. 正法寺
3. 浅草観音寺
4. 宗圓寺

問92

観光ガイドとして、お客様をご案内するとき、相手を尊重する心のあり方として一番気を付けたいのは次のどれでしょうか。

1. 相手の立場や時間の都合を考える
2. 事前に用意した話はすべて話す
3. 必ず買い物の時間を入れる
4. 絶対に方言は使わない

問93

（ ）内に該当する一番適切な語句を記入しなさい。

ガイドを依頼された時、事前に準備しておかなければならない一番大事なことは（ A ）です。またガイド中で大事なことは（ B ）を心がけることです。心のこもった笑顔と、ちょっとした気遣いは、お客様に対して、最大の（ C ）となります。

- A
1. お客様の職業を知ること
 2. 自分が目立つ服装を考える
 3. お土産店を調べておくこと
 4. 行程を事前にシュミレーションしてみる
- B
1. 覚えたことを最後まで話すこと
 2. 建物の建築年を間違えないこと
 3. 冗談を言うこと
 4. 気さくな声がけで状況を判断すること
- C
1. おみやげ
 2. おもてなし
 3. 贈り物
 4. 思い出づくり